

海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

2025.

9

静岡県企画部地域外交課



日系企業と現地企業のビジネス交流会を開催（浙江省・杭州市）

東南アジア

シンガポール最大級の旅行博で静岡の魅力を発信！（シンガポール）

海外の大学で就職説明会を開催（インド、ネパール）

中国

新規就航地・青島で現地旅行社向け「静岡県観光セミナー」を開催

浙江省・杭州市で日系企業と現地企業のビジネス交流会を開催

韓国

今日も気を引き締めて「公務遂行」

李在明大統領、8月に就任後初の訪日

台湾

静岡の学生、続々台湾へ！台湾での企業研修・学校交流が旺盛

「ふじのくにマエストロシェフ」が台北の5つ星ホテルで料理監修

東南アジア駐在員報告

駐在員：村川 未帆

経 済

シンガポール最大級の旅行博で静岡の魅力を発信！（シンガポール）

8月15日～17日、シンガポール最大級の旅行博「NATAS Holidays」に出展し、県内観光地をPRした。3日間の来場者数は約10万6千人で、静岡県ブースも来場者が途切れることなく、混雑が続いた。

シンガポール人の7割以上が訪日旅行経験者で、9割以上が個別手配（日本政府観光局統計）ということもあり、ブース訪問者の多くから、「東京、大阪等の主要観光地以外で、自分の好みに合わせた特別な旅を楽しみたい。」という声が聞かれた。また去年のNATASに比べ、レンタカーでの旅行を予定している人がかなり増え、「富士山ビュースポットを含む自然の景色、食、温泉、果物狩り等を、自分のペースでゆっくり楽しめる具体的な行程やルートを教えてほしい。」との質問を多く受けた。公共の交通機関では訪問しづらい温泉、牧場、ティーテラス、ワサビ田、漁港等、様々な体験スポットを紹介すると大変喜び、こちらの説明にも力が入った。後日、当事務所に追加の問い合わせもあり、本県への旅行を真剣に考えてくれていることを嬉しく思う。

シンガポールの個人旅行の情報源の多くは動画サイトやSNSであることから、今回の旅行博出展で得られたシンガポール人の旅行の嗜好・傾向を踏まえ、当事務所SNSから、本県の魅力、具体的な行程案を発信していきたい。



経 済

海外の大学で就職説明会を開催（インド、ネパール）

8月下旬、インドのグジャラート大学とネパールのトリブバン大学を訪問し、今年度開催予定の海外高度人材と県内企業との就職面接会に関する説明会を開催した。また、トリブバン大学では、学生と県内企業とのマッチング等で連携する人材分野での協力に関する覚書も調印した。

インドでは、約700人もの学生が説明会に参加し、本県及び面接会の概要等について説明が終わると、沢山の学生から質問があり、日本での就職への関心の高さが窺えた。インド、ネパールともに、学生からの質問の多くは、企業からニーズのある学部と、求められる日本語力だ。英語は話せるが、日本語ができる学生は多くないため、面接はもちろん、その後の日本での生活のことも心配している。一方で、海外高度人材の採用を検討する企業側もまた、語学力や文化の違いを心配し、採用を躊躇うこともある。とはいえ、日本の人材不足は深刻化していることから、就職を希望する学生に事前に必要最低限の日本語を習得してもらう必要はあるが、官民ともに、来日後の外国人労働者のサポート体制を充実させていくことが重要だと感じる。



中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

経 済

新規就航地・青島で現地旅行社向け「静岡県観光セミナー」を開催

8月22日、上海事務所は、山東省・青島市で現地旅行社向け「静岡県観光セミナー」を開催した。

本イベントは、「青島―静岡線の新規就航で、新たな商材となる静岡県の観光資源をもっと知りたい」との現地旅行社の要望に応える形でセミナーを企画。在青島日本国総領事館と連携して広報を行い、日本旅行の企画・販売を担当する26名が参加した。

他国と同様、中国でもFIT（Foreign Independent Tour 個人旅行）のニーズは高まっているものの、山東省では未だに団体旅行によるゴールデンルート（東京―大阪）の人气が根強いことから、セミナーでは「東京・大阪発着を静岡空港に切り替えれば、顧客満足度を更に高められる」と提案。浜松フラワーパーク、富士山世界遺産センター、大室山など県内の人気スポットを組み込んだ周遊ルートを紹介した。また、現地には東急グループが応援に駆け付け、三島・下田の系列ホテルを紹介したほか、日本からもオンラインで大井川鐵道、ちびまる子ちゃんランド、駿河湾フェリーの担当者が各施設の最新事情を交えたセールスを行った。

参加した旅行社からは、「県内の観光施設・周遊ルート・所要時間を具体的に把握でき、自信をもって商品を造成できそう」との嬉しい声も聞かれた。上海事務所では、青島線の利用促進を通じて増便を図るため、引き続き現地でのプロモーションに注力していく。



経 済

浙江省・杭州市で日系企業と現地企業のビジネス交流会を開催

8月27日、浙江省・杭州市で、日系企業と現地企業のビジネス交流会が開催された。

本事業は、浙江省に進出する日系企業と、浙江省の現地企業で新たなビジネスを生み出そうとする試みで、浙江省で本県との経済交流の窓口を担う浙江省・静岡県経済交流促進機構（浙江省委員会）が主体となって開催した。

同機構の金国慶事務局長は、冒頭で「浙江省は静岡県ほか日本各地と多分野で交流を積み重ねているが、その厚みを増していくには経済交流の強化が不可欠」と挨拶。県内からは、寧波港鈴与物流有限公司（鈴与）が、両県省の友好交流を契機にビジネスを展開させた事例を紹介したほか、蕭山雅馬哈楽器（ヤマハ）、杭州矢崎配件（矢崎総業）、浙江永田汽车配件（永田部品）など浙江省に進出する企業がマッチングに臨み、現地企業との商談を通じて新たな協業の可能性を模索した。



韓国駐在員報告

駐在員：石ヶ谷 彰英

行 政

今日も気を引き締めて「公務遂行」

毎朝、地下鉄を降りて地上に出ると、郵便配達員が通り過ぎて行く。エンジン音を響かせながら、配達先へ向かうバイクの前面にはハングルで「公務遂行」と書かれている。国は異なれども公務員である私も、その文字を見るたびに気を強く引き締める。

韓国語で郵便局は「郵便局」（ウチェグク）という。「通」という文字に、かつては全国各地にあって、今や東京だけに残る通信病院を思い出す方もいることだろう。

郵便局が扱う主要な業務は言うまでもなく、信書や小包といったものの受付・運送・配達であるが、加えて貯金・保険業務あり、これらは、韓国科学技術情報通信部の直轄機関である郵政事業本部が行っている。内外環境の変化に積極的に対応するといった趣旨で2000年にそれまでの情報通信部（旧称）から、新たに設立された郵政事業本部に事業移管されて以後、郵政事業の公社化や民営化が幾度となく議論・検討されてきたが、実施には至っていない。

首都機能移転に向けた省庁移転など、改革をスピーディーに行うことが多い韓国だが、2003年に日本郵政公社を設立し、2007年に郵政民営化を行った日本に対して、郵政事業改革については慎重なようである。

何はともあれ郵便局のサービスは良い。職場の近所にある光化門（カンファムン）局では封筒のバラ売りがあり、白封筒を1枚5円以下で買える。段ボールもその場で購入可能だ。

仕事の内容は違っても、県民生活の利便性向上に多少でも貢献できるよう「公務遂行」を心掛けていきたい。

政 治

李在明大統領、8月に就任後初の訪日

8月は日本にとって特別な月である。日本では広島と長崎に原子爆弾が投下され、15日には終戦を迎えた。今年は戦後80年。思いを新たにした方も多いだろう。

そして韓国の8月15日は「光復節」。日本の統治が終わることとなった特別な日である。

今年6月に就任した李在明（イ・ジェミョン）大統領にとっては初めての「光復節」であり、その記念式典でどのようなスピーチをするかが注目されたが、歴史問題については歴代の大統領と比べても抑制的な内容だったと捉えられている。自ら掲げた「実用外交」に沿ったものと評されているが、一部からは、「もの足りない」との意見が出ている。

さらに意外だったのは、8月という特別な月に訪日したことである。毎年この時期には日本統治下の時代の出来事をを取り上げたテレビ番組が放送されるのだが、こうした時期の大統領訪日はこれまで例がなかった。そして、新任の大統領が米国よりも先に訪日するのも初めてだった。

会談の成果や今後の両国関係については、多様な論評・意見があり、これらの稿に委ねることとするが、一つエピソードを紹介する。

就任後、初の訪日となった李在明大統領だが、以前に静岡県に來たことがある。平成22（2010）年に浜松で開催された国際会議に、当時の京畿（キョンギ）道城南（ソンナム）市長として出席している。その後京畿道知事を務めた後、第21代韓国大統領に就任した。もしも機会があれば、浜松市、本県の印象や思い出を是非聞いてみたい。

台湾駐在員報告

駐在員：市川 美奈子

行政

静岡の学生、続々台湾へ！台湾での企業研修・学校交流が旺盛

例年8月は、静岡県から台湾への教育旅行が盛況だ。今年も、県教育委員会の高校生海外インターンシップ事業（2団体）や県立沼津商業高校などが訪台し、研修や交流を行った。

弊所では8月6日と20日、高校生海外インターンシップ事業の学生に対して、弊所の業務内容と台湾の最新事情に関する講義を行った。弊所の業務内容は、観光・空港・県産品輸出、台湾における本県企業の活動支援、視察調整、場合によってはコンサルティング業務などと多岐にわたっている。教育旅行に関する細かな調整も弊所で担っていることを紹介したところ、学生たちは大変興味を持って聞いてくれた。

台湾最新事情の講義の一環として、台湾は中華圏全体の音楽シーンの中心地であり、台湾のトップアーティストは台湾内外に何千万人ものファンがいること、台湾でも「ちいかわ」など日本のアニメが大人気であることなどを紹介したところ、学生たちが「とても面白かった」と感想を伝えてくれた。引率の先生からは「学生たちは台湾にとっても興味を持った様子で、帰る頃には『絶対また来よう』『次はどこに来ようか』と相談していた」との話を聞き、心が洗われる思いだった。

8月19日には、静岡県教育委員会の池上教育長（台湾教育部からの招請で訪台）とともに、台北市立士林高級商業職業学校と沼津商業高校との交流に立ち会った。交流に参加した学生たちは、異国の地で頑張る同世代の姿を目の当たりにし、良い刺激を受けたことだろう。

静岡県では今年2月、台湾の高級中等以下学校国際教育交流連盟との間で、教育分野の交流と連携を強化するための覚書を締結している。今後も教育旅行の促進を通じて、台湾と静岡県との交流拡大に尽力していく。

経済

「ふじのくにマエストロシェフ」が台北の5つ星ホテルで料理監修

8月14日、台北市内の5つ星ホテルであるグランドメイフルホテル台北は、浜松市の「懐石いつ木」の一木敏哉氏監修のメニューを期間限定で提供する旨の記者発表会を行った。

一木氏は、静岡県が主催する「ふじのくに食の都づくり」事業において「ふじのくにマエストロシェフ」の称号を授与されている。大阪・関西万博の静岡県ブース「GEO KITCHEN SHIZUOKA」では、ブース入口で来場者に提供する「お茶のだし」を監修した。

同ホテルでの記者発表会では、一木氏が和食における日本文化の紹介と「お茶のだし」のデモンストレーションを行ったほか、弊所所長の市川が、静岡県が食の都であることや一木氏が静岡を代表する料理人のひとりであることを中国語で直接現地メディアに紹介して、静岡の食の魅力をおおいにPRした。

一木氏監修のコース料理は、グランドメイフルホテル台北内の「日本料理春山」で11月30日まで味わえる。静岡の食の豊かさと新たな可能性を感じられるこのコース、台湾で日本食が恋しくなったら、ぜひ味わってみてほしい。

【グランドメイフルホテル台北での記者発表会】



静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://www.shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課
 住所：静岡市葵区追手町 9-6
 電話：054-221-2572 F A X：054-221-2542
 E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp